

事務事業名	熊本中央広域市町村圏協議会参画事業		☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 0 4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	
施策名	画 1 6	行財政改革の推進	所属係	政策企画班	
基本事業名	体系 5 4	市民サービスの向上	課長名	齋藤 正昭	
予算科目	会計 0 1	款 0 2	項 0 1	目 1 1	
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ↳ (開始年度 平成 7 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)		担当者名	澤田 勝矢	
法令根拠			地方自治法第252条の2から第252条の6 熊本中央広域市町村圏協議会規約		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)			全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)		
(事業の内容) 熊本市を中心とした市町村圏において、圏内の振興整備に関する広域市町村圏計画を策定し、調和ある発展を推進するという目的で設置された熊本中央広域市町村圏協議会に参画する事業である。協議会の下部組織として、広域連携検討部会が設けられ、課題別に検討している。協議会の会長は熊本市、副会長は合志市で、事務局は熊本市が担当している。 (業務の内容) ・協議会総会へ参加する。・広域連携検討部会において、各課題を検討する会議に参加する。・構成市町の連携と職員の資質向上のため、県内大学機関とも連携した研修、フォーラムに参画する。・「SALK(さるく)肥後っ子パスポート」事業に参画し、市内各小中学校の児童・生徒にパスポートを配布する。 (予算の内訳) 負担金補助及び交付金			総事業費 総投入量 人件費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
				事業費計 (A)	0
				正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	0
				トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

- ・協議会総会への参画(市長、企画課長、担当)
- ・広域連携検討部会への参画(企画課、政策推進室、商工振興課)
- ・「SALK(さるく)肥後っ子パスポート」の配付(市内小中学校:小7校、中:3校)

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度に同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

- ・圏域内市町
- ・市内小中学生

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

- ・広域的行政課題に連携して取り組む。
- ・圏域内の他市町の施設を知り、気軽に利用できる。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

満足度の高いサービスを受ける。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 協議会回数	回
イ 広域連携検討部会等回数	回
ウ 「SALK(さるく)肥後っ子パスポート」配付部数	部

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 圏域内市町数	団体
イ 市内児童、生徒数	人
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 広域的に取り組んだ事業数	本
イ 「SALK(さるく)肥後っ子パスポート」が有効だと答えた児童・生徒の割合	%
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 窓口アンケートの総合評価点数	点
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円		217	148	174	174	174	174
			事業費計 (A)	千円	0	217	148	174	174	174	174
	人件費	正規職員従事人数	人			3	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間			68	68	68	68	68	
		人件費計 (B)	千円	0	0	270	270	270	270	270	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	217	418	444	444	444	444	
活動指標	ア	回			1	1	1	1	1		
	イ	回			7	5	5	5	5		
	ウ	部			5322	5350	5430	5460	5520		
対象指標	ア	団体	10	10	9	9	9	9	9		
	イ	人	5018	5029	5075	5101	5180	5210	5270		
成果指標	ア	本			4	5	5	5	5		
	イ	%			30.9	35	40	45	50		
	ウ										
上位成果指標	ア	点									
	イ										

事務事業名	熊本中央広域市町村圏協議会参画事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 地方自治法第252条の2の規定に基づく協議会として、昭和47年に発足し、その構成市として、熊本中央広域市町村圏内の振興整備に関する計画（広域市町村圏計画）を策定し、圏域の調和ある発展を推進するために参画している。圏域内の人口は約85万人、面積は約1,121km²である。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 合併前の旧合志町、旧西合志町もそれぞれが加入しており、合併後も合志市として加入している。（現在、熊本市、合志市、大津町、菊陽町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の2市7町）
 合併前の広域市町村圏計画は、旧町それぞれの実施計画を基に、策定に参画していたが、合併後の合志市の実施計画は現在策定中（平成19年度完了）であり、現段階での策定への参画は政策的な事業の掲載は難しいと思われる。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
 特に聞いている

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 質の高い行政サービスをめざすためには、熊本中央地域との連携が必要であり、各種施策・課題を解決していくうえでも必要な事業であり、結び付いている。 小中学生を対象にした圏域内の公共施設を活用できる肥後っ子パスポートの取り組みも周知を徹底すれば市民サービスへの向上につながり、意図する結果に結び付いている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 地方自治法上で規定された地方自治体間が組織する協議会であり、市民への行政サービス向上と市町間連携のために、公共的に関与することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 この事業により、市民が直接的な恩恵を受ける機会は、肥後っ子パスポートの対象である小中学生となるが、市としての情報交換、関係市町との事業連携、調整が参画によって円滑に行えることが期待でき、その効果が市・市民・小中学生に反映されることから、対象及び意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 参画することによって受ける恩恵が目に見えにくく、肥後っ子パスポートの取り組みも周知が徹底されていない面がある。市町村圏協議会への参画によって市が受けるメリットを周知することによって成果を向上させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 この参画事業は熊本市を中心とした9市町で構成されており、参画から撤退することになると、他の構成市町に大きな影響を与えることになる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) 地方自治法の協議会という枠を超え、さらに広域の熊本市圏及び政令指定都市についての研究会があり、目的が重複する部分がある。 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 別事業の熊本市圏及び政令指定都市についての研究会参画事業でも都市圏ビジョン・基本計画を策定しており、本事業と重複する点がある。将来的には統廃合・連携のあり方を検討する必要がある。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 上記、類似事業との連携により統廃合の可能性はあるが、熊本市圏及び政令指定都市についての研究会参画事業は熊本市の全額負担で賄われており、事業費の削減は期待できない。 重複して取り組む事業量の調整は可能と思われる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 上記、類似事業との連携により統廃合の可能性によって、職員が協議する場の統一化や重複する事務作業の効率化が期待できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市、市民、市内の全小中学生を対象としており、公平である。

合志市

事務事業名	熊本中央広域市町村圏協議会参画事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

①参画によって受ける恩恵が目に見えにくく、肥後っ子パスポートの取り組みも周知が徹底されていない面がある。市町村圏協議会への参画によって市が受けるメリットを周知することによって成果を向上させる余地がある。②別事業の熊本都市圏及び政令指定都市についての研究会参画事業でも都市圏ビジョン・基本計画を策定しており、本事業と重複する点がある。将来的には統廃合・連携のあり方を検討する必要がある。③類似事業との連携による統廃合の可能性によって、職員が協議する場の統一化や重複する事務作業の効率化が期待できる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☒ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)

☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)

☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

・参画によって受ける恩恵が目に見えにくく、肥後っ子パスポートの取り組みも周知が徹底されていないことから、市民にわかり易く周知を徹底する必要がある。

・熊本都市圏及び政令指定都市についての研究会参画事業での都市圏ビジョン・基本計画では、期間的な定めはなく、計画の実現を今後作業部会等で検討していくこととされており、連携のあり方を探る場は設けられる。

・連携による効率化の可能性によって、職員が協議する場の統一化や重複する事務作業の一本化を行う必要がある。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

この参画事業による効果について、市民への情報公開を徹底し、理解を得る必要がある。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

☐ 記述不足でわかりにくい

☐ 一部記述不足のところがある

☐ 記述は十分なされている

②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)

☐ 一部に客観性を欠いたところがある

☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり
② 有効性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり
③ 効率性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり
④ 公平性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)

☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)

☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項